

めいわ 議会だより

No. **50**

2011

平成23年 2月 10日発行
群馬県邑楽郡明和町議会



第十三回

開催日時

平成二十三年一月九日(日)

受付開始 午前九時三十分

明和町



大きな夢に向かって(成人式)

議会会議録を町のホームページ(議会事務局)に掲載しています。
町のアドレス <http://www.town.meiwa.gunma.jp>

定例会	平成22年度補正予算を可決	②
臨時会	人事院勧告に伴う給与引き下げ	⑥
所管事務調査	施設及び事業の現地調査	⑦
一般質問	9人の議員が町政を問う	⑧
研修報告	北海道道東方面視察	⑭

一般会計補正予算を賛成多数で可決

12月定例会

12月定例会

1月9日に開催された子ども会上毛かるた大会

一般会計補正予算の主な内容

○猛暑被害による米生産農家へ特別支援金	970万円
○太陽光発電システムの設置補助金	555万円
○中央公民館談話室を子どもプレールームに改修	543万円
○公園整備(ベビーシートの設置や大輪公園を充実)	340万円
○木造住宅・建築物耐震改修に補助	300万円
○役場に消費生活センターを設置	182万円
○こども園・地域子育て支援センターに遊具等を購入	169万円
○日本脳炎予防接種2期を再開	100万円
○職員の給料・手当等の減額	△5,220万円

12月定例会

平成22年第4回明和町議会定例会は、12月8日に招集され14日までの7日の会期で開かれました。
この定例会には、町長から人事案件をはじめとする平成22年度の各会計補正予算を含めた7議案が提出され、慎重に審議した結果、いずれも原案のとおり可決しました。
また、最終日には議員から「TPP交渉参加反対に関する意見書」と「義務教育費国庫負担制度の堅持と国負担割合2分の1復元を求める意見書」が提出され、原案どおり可決しました。一般質問には9人の議員から12問の質問が提出され、活発な議論を展開して町当局の所信をたえました。

12月補正の結果

(数字は万円未満を切り捨て)

会計名	12月補正額	補正後の予算額
一般会計	△1,384万円	40億 542万円
特別会計		
後期高齢者医療	172万円	8,892万円
国民健康保険	8,645万円	13億 685万円
介護保険	△5万円	7億8,446万円
下水道事業	△667万円	5億6,726万円
水道事業会計	△190万円	3億7,215万円

12月定例会

主な質疑

住民目線で徹底チェック！

平成22年度一般会計補正予算

借金総額と臨時財政対策債について

今年度末で78億4000万円強に

借り入れしなくとも交付税措置

①臨時財政対策債発行可能額の2億7245万円を補正して合計で6億2745万円を借り入れ

②交付税措置される臨時財政対策債の平成22年度償還（返済）見込額9845万円は、基準財政需要額に対して交付税交付額の割合は

③臨時財政対策債の借り入れをしなくても、基準財政需要額に算入

ります。

④平成19年度から比べると税収が落ち込み、その差を埋めるため、交付税が見込みより少なかったため借金をするものです。

①平成22年度

②20・2%（約1984万円）

③臨時財政対策債の発行の有無にかかわらず借り入れたものとして、その元利償還金が交付税を算定するうえで、基準財政需要額（交付税措置）にな



児童福祉施設費

①児童福祉施設費の内容は、東部学童保育所の防犯灯の工事費の内容は

②児童福祉施設費の内容は、東部学童保育所の防犯灯の工事費の内容は

③児童福祉施設費の内容は、東部学童保育所の防犯灯の工事費の内容は

太陽光発電システム補助金

①太陽光発電システムの補助金が

②太陽光発電システムの補助金が

③太陽光発電システムの補助金が

都市計画課長

住宅・建築物耐震改修促進は30万円が10戸の300万円です。今年度限りです。

給与費明細書

職員数が減っているとの説明がありましたが、補充をせずにやっているのか。

町長

3名ほど減となっておりますが、仕事量は増えています。職員のモチベーションを上げ、職員の仕事を数値化し、過重に仕事をしているのかを若干余裕があるのかを見極め、職員配置を含め増員も考えます。

住宅・建築物耐震改修促進事業

住宅・建築物耐震改修促進事業補助金の補助の期間はいつまでなのか。



太陽光発電

一般会計

①臨時財政対策債発行可能額の2億7245万円を補正して合計で6億2745万円を借り入れ

②交付税措置される臨時財政対策債の平成22年度償還（返済）見込額9845万円は、基準財政需要額に対して交付税交付額の割合は

③臨時財政対策債の借り入れをしなくても、基準財政需要額に算入



特別会計

国民健康保険特別会計補正予算

出産育児諸費

①補正額 210 万円の分娩予定者数は。

健康づくり課長 一人当たり 42 万円で 5 名分で 210 万円です。

第4回定例会 提出議案と審議結果

12月8-14日

種別	件名	審議結果	
人事	監査委員の選任	全員賛成	原案可決
予算	平成22年度明和町一般会計補正予算（第3号）	賛成多数	〃
	平成22年度明和町後期高齢者医療制度特別会計補正予算（第2号）	〃	〃
	平成22年度明和町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	〃	〃
	平成22年度明和町介護保険特別会計補正予算（第3号）	〃	〃
	平成22年度明和町下水道事業特別会計補正予算（第2号）	〃	〃
	平成22年度明和町水道事業会計補正予算（第2号）	〃	〃
意見書	T P P 交渉参加反対に関する意見書	〃	〃
	義務教育費国庫負担制度の堅持と国負担割合2分の1復元を求める意見書	全員賛成	〃
選挙	東毛広域市町村圏振興整備組合議会議員の選挙		

第2回臨時会

平成22年第2回明和町議会臨時会は、11月25日に招集され、会期1日で開かれました。町長から人事院勧告に伴う給与引き下げ関係4件の条例改正案が提出され、慎重に審議した結果、すべて原案のとおり可決しました。

人事院勧告に基づき議員等の期末手当(ボーナス)を減額しました



臨時会

改定の主な内容

- ① 特別職(議員・町長)の期末手当を4・15月から3・95月に引き下げ(△0・2月)
- ② 職員の期末・勤勉手当を4・15月から3・95月に引き下げ(△0・2月)
- ③ 55歳を超える職員(給料表6級の職員)の給与を引き下げ(△1・5%)
- ④ 中高齢層(40歳以上)の給料表の引き下げ(△0・1%)

第2回臨時会 審議結果 11月25日

種別	件名	審議結果	
条例	明和町職員の給与に関する条例等の一部改正	賛成多数	原案可決
	明和町特別職の職員の給与及び旅費支給条例の一部改正	全員賛成	〃
	明和町教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部改正	〃	〃
	明和町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正	賛成多数	〃

【定例会】みなさんの
からの
請願

採択

請願第6号

T P P 参加に反対する請願

請願第7号

義務教育費国庫負担制度を堅持するとともに、国負担割合を2分の1に還元することを求める意見書の採択に関する請願書

請願第8号

T P P 交渉参加反対に関する請願

▼結果 願意妥当と認め採択

継続審査

請願第5号

全額国庫負担の「最低保障年金制度」創設を政府に求める請願書

常任委員会所管事務調査報告

2つの常任委員会は、各委員と事務局出席のもと、所管にかかわる事務調査を実施しました。調査の内容は、各担当課長から平成22年度事業の進捗状況と平成23年度の事業概要について説明を受け、町内の施設及び事業の実施状況等現地調査を実施しました。

総務・産業常任委員会

◎今成 隆 ○堀口正敏 富塚基輔 斎藤一夫 岡安敏雄

(◎委員長 ○副委員長)

◆期日 11月25日(木)・12月8日(水)

◆現地調査箇所

- ・広報めいわ編集業務(N P O法人めいわ・総務課)
- ・谷田川廃河川敷整備工事計画(都市計画課)



N P O法人めいわ

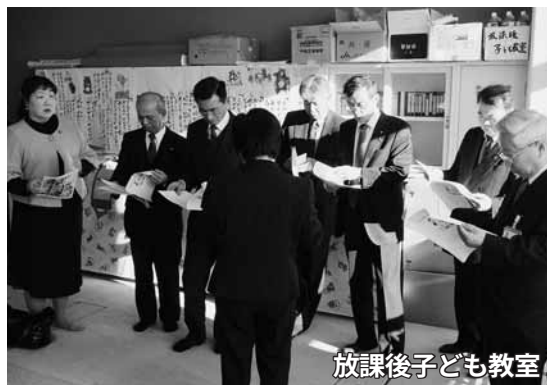


谷田川廃河川

◆期日 11月24日(水)・12月8日(水)

◆現地調査箇所

- ・学校給食試食と運営状況(学校教育課)
- ・町デイサービスセンターの運営状況(住民福祉課)
- ・東小放課後子ども教室運営状況(生涯学習課)



放課後子ども教室



学校給食センター

文教・厚生常任委員会

◎関根慎市 ○早川元久 橋順子 野本健治 野本長司 栗原孝夫

(◎委員長 ○副委員長)

ズバリ！
聞きます！

一般質問

一般質問

優しい町づくりのために活発な議論を展開！

町政を問う

9人の議員が質問

堀口 正敏 議員

猛暑被害による米農家の支援を

支援金2000円以外は考えていない／町長

質問 J A 邑楽館林への米60kgの仮渡価格があさひの夢3等6300円で、昨年と比べると40%安くなり、猛暑被害により1、2等級は激減して、規格外も大量に発生していること、収量減で大幅な収入減が避けら

れない状況であり、町内農家も苦境に立たされています。

県内では、自治体やJ A が支援に乗り出しています。本町は農業共済に加入している農家を対象に、10ヘクタール2000円の特別支援金を支払うことで

は、不十分です。邑楽町では10ヘクタール、共済組合加入者には、3000円に加えて、生産調整達成者には2000円を支給するようです。邑楽町と同程度の支援や農業近代化資金など融資を受けた際の利子補給に上乗せで

きないか。また、規格外米の販売に協力する自治体が相次いでいる報道があるがどのような考えているか。

町長

群馬県では県農林業災害対策措置置条例の適用を決め、支援に乗り出したところですが、町農林業災害対策特別措置条例に基づきますと、対象者は農業所得が総所得の2分の1以上であることから、該当者が限られてしまいます。そのため、この条例を適用

しないで、邑楽郡の5人の町長が相談して10ヘクタール2000円の支援金を助成することに基本的に決定しましたが、邑楽町は、特別な事情があったのでしよう。利子補給は考えていません。農家は自主的に米を販売しており、現在自家用の米しか残っていないと思います。農家の経験がなかったので出荷前に対応をすることができませんでした。



胸割米（あさひの夢）

斎藤 一夫 議員

旧役場跡地の利用について

基本的には駅周辺整備の交換用地として／町長

質問 旧役場があった場所は、解体を終え、駐車場の形式をとっております。町の中心に位置し、利用価値は絶大であると考え

ますが、日本経済が低迷している現状での大規模な開発は、困難な状況にあると考えます。何らかのビジョンを持って、今後開発を行う予定があるのか。

また、農協と交換を前提に現状のようにしているのか、あるいは莫大な造成費を掛け、売却するのか。

企画財政課長

農協との交換

につきまして、現時点では保留となっております。農協の支所の再編等も検討していると聞いていますので、推移を見守りたいと思います。

また、南側の未舗装部分については、大部

今成 隆 議員

医療費抑制と患者負担の軽減について

普及推進を図っている／町長

町長

町ではこれまでに、国民健康保険及び後期高齢者医療制度加入の全世帯に対して、ジェネリック医薬品希望カードの配布を始め、「広報めいわ」や元気アップ教室など、各地区に設置されたサロン等で、ジェネリック医薬品の普及促進を図ってまいりました。また、平成23年度には国等では、国民健康保険及び後期高齢者医療保険の被保険者を対象に、後発医薬品を利用した場合の、自己負担軽減の周知をするための利用差額通知を発行できるシステムを開発中です。今後利用差額を把握できるようになれば、ジェネリック医薬品を希望する人が大変多くなるのではないかと考えています。

質問

高齢化による医療費の増が見込まれる中、厳しい財政状況にある国民健康保険の医療費適正化は重要課題であり、積極的な対応に努めなければなりません。国民健康保険と後期高齢者医療制度加入の全世帯に「後発医薬品お願いカード」の配布、ジェネリック医薬品普及促進策として、明和広報紙への掲載や医療費のお知らせはがきに明記して医療費削減等に取り組むとともに、運営安定化措置の内容として「後発医薬品に切り替えた場合の自己負担の差額のお知らせ」等、医療費の抑制について伺います。

早川 元久 議員

中学校での教室の温度について ストーブが使えない日があるというのは事実なのか

管理を徹底 灯油の追加支給を検討／学校教育課長
エアコン設置を指示／町長

質問 中学生の保護者の方から「寒い日が続くと、週末の金曜日などにはストーブの灯油がなくなり、ストーブが使えない日がある。」と伺いました。より良い環境の中で教育を受けさせたいというのは、親の願いであり、町の責任でもあると思います。冬季の教室の温度は、どのような基準のもと管理され、ストーブが使えない日があるというのは事実なのか伺います。

という声も出ています。この点でも町の考えを伺います。

学校教育課長 教室の温度は、学校環境衛生基準により、冬期は18℃から20℃となっています。ストーブが使用できない日は、実際ありました。これは、特定のクラスが、灯油を計画的に節約しながら使用しなかつたためと思われる。今後はこのようなことがないよう管理を徹底するとともに、燃料切れの場合でも追加支給を検討したいと思っています。

町長 国からエアコンを設置する場合には、3分の1を補助するという通知が入りましたので、小中学校へのエアコン設置を指示しました。

こんな質問もありました
水道事業について

また、22年の漢字に「暑」が発表されましたが、天井扇、グリーンカーテンでいいのか



石油ファンヒーター

関根 慎市 議員

不育症への支援策について

限度額を設け支援の制度化を図る／町長

質問 不育症とは妊娠はするものの出産に至らず流産や死産を繰り返す病気のことであり、まだ病名すら広く知られていない。「流産は病気ではない」「動きすぎでは」などと周囲の心ない言葉にひとり悩み、子どもを持つことをあきらめてしまう女性も多くいる。国の調査で原因も解明され、治療の結果85%が出産に至っているとされるが、治療費への保険が適用にならず、治療をあきらめる人もいると聞く。岡山県真庭市では30万円の助成を始めたが本町はどうか。不育症は治るという啓発や、国・県への働きかけを行うべきでは。

町長 流産や早産になる不育症に悩む人は2%から5%いるといわれ、原因の大半は自然現象として発生する胎児の染色体異常だが、治療により出産に至る人も増えていると聞いています。治療費が



冨塚 基輔 議員

高齢者給食サービスの充実について

充実を図っていきます／住民福祉課長

室を利用して、新たな給食サービスを行うことで、買い物代行などと組み合わせて福祉の充実を図っていきます。

質問 明和町では65歳以上を対象に月2回、給食サービスを実施する予定の買い物代行や配食サービス支援メニュー補助制度を活用し、より一層の福祉サービスを図るつもりがあるか伺います。

住民福祉課長 月2回、行っているサービス回数を増やすことにより、独居高齢者の安否確認がきめ細やかにできると思いますが、今後は老人福祉センターや公民館の調理



ひとり暮らしのお年寄りにお弁当を届けに行ってきます

栗原 孝夫 議員

川俣宿と産廃の山について

草花の種を検討します／環境水道課長

質問 町では川俣宿に力を入れ、絵本も計画されています。見学者も増えると思いますが、駐輪、駐車場を計画する考えは。また、産廃の山ですが、形を変え環境がかなり改善されました。しかし、川俣宿の入り口にもあたる場所で現在草山の状態です。一部を駐車場等での有効活用、または景観作物等の何らかの支援金を見つけて地主さんに指導してはいかがでしょうか。

環境水道課長 川俣宿見学者の駐車場は、川俣事件記念碑敷地内に車10台分くらいあり、バスの駐車も確保できています。産廃の山は、地主さんに適正管理をお願いしています。景観を良くするために、当面の措置として、草花の種の支援について検討します。



川俣宿駐車スペース

今後の議会活動のために

町村議会議員研修会が10月28日に吉岡町文化センターで開催されました。この研修は、毎年一回議員の資質の向上を目的として開催されています。

今回は、東大名誉教授の大森^{わたる}彌氏による「地域主権改革とこれからの町村」と題し、国政選挙の分析として比例代表制の見方や今後の国と地方の関係の見通しについてわかりやすく解説していただきました。

続いて、共同通信社特別編集員の西川孝純氏による「菅政権と政治の行方」と題し、民主党のマニフェストの実行率や整合性、今後の政局などについて、細かく説明していただきました。

今回の研修を踏まえて、今後の議会活動にいかしていききたいと思います。



議員研修

読みたくなる広報紙作り

11月8日に群馬県市町村会館で議会広報研修が開催されました。この研修は、議会だよりを住民の方々に「読みやすく」わかりやすく「より身近なものに」していただくための議会広報のあり方について研修する目的で行われます。

講師の先生の深沢徹氏は、議会広報に精通しており、議会広報の編集技術だけではなく、議会広報の目的や読みやすい、読んでいるだけで読者の広報として、具体例を例示しながら説明をいただきました。また、後半は実際に広報紙を使



広報研修

い、良い点、悪い点を説明していただきました。今回の研修を受けて、議会広報のあり方を再確認し、読みやすく、わかりやすく、一人でも多くの住民の方が読みたくなる広報紙作りをしていけるよう、広報委員一同が再認識する事ができる研修になりました。

東部地区の開発について

住民の意向を聞き検討していく／都市計画課長

発について検討していきたいと考えます。

質問 東部地区には東北自動車道館林インターが近くにあります。一級河川の谷田川に新しく橋を架け利便性を高め、東部地区に工業用地や住宅団地を造成し、税収の増加や人口の増加を図るべきと考えます。町の考えを伺います。

都市計画課長

明和町では、川俣駅周辺整備事業、都市計画道路事業、下水道整備事業など大きな事業も進めております。これらの進捗状況なども勘案しながら、東部地区の皆様意向を聞き、地域の皆さんと一緒に東部地区の開



東部地区の活性化を

高橋 順子 議員

「女性特有のがん無料検診の拡充」について

新年度の実施事業に検討します／健康づくり課長

質問 明和町では20歳から40歳の女性に子宮頸がんの無料検診、40歳から60歳の女性に乳がん無料検診クーポン券を5歳刻みに配布し5年間の継続事業としています。しかし、61歳からの女性も乳がん検診率は40%と高く、発症率も年々増加傾向ですが無料検診の対象にありません。無料検診の重大性は大きく平等に受ける機会が必要と思います。

健康づくり課長

女性特有のがん無料検診クーポン券発行は特に若年層の新規掘り起こしや各年代の受診者を増やすためのきっかけづくりとなり、成果がありました。そして町独自に61歳以上の方へ無料クーポン券の配布については早期発見、早期治療の観点から有効と思われます。実施年齢は総合的に検討した結果、5歳刻みで65歳

までを考えており、対象者数は80人です。新年度の実施に向け検討します。



ガン無料クーポン券

議会の活性化について

議会全体研修として、10月12日から14日の3日間にわたり北海道道東方面を視察いたしました。

まず初めに、釧路市の西に位置する白糠郡白糠町にて視察を行いました。白糠町は、人口1万人弱、約774km²と広大な大地をいかし、酪農が盛んな町です。また、太平洋に面しており、日本でも有数の冷涼地帯です。

白糠町では、議会の活性化についてとして、議会基本条例の制定に係る経緯や政治倫理要綱の制定について説明をいただきました。また、議会主催による住民懇談会について運営方法や実施状況

等について質疑がなされました。広く住民の意見を取り入れ協働のまちづくりを行うための住民組織「まちづくり委員会」による提言についての説明と組成経緯について質疑がなされました。

また、白糠町では、パソコンの情報漏れ防止策として、「シンクライアント」を導入しており、導入経緯や費用比較について説明を受けました。

2日目は、釧路市の東側に位置し、東西に約55km、南北に約47kmと大変広大であり、7月に町政施行110周年を迎えた歴史ある厚岸町にて視察を行いました。

そして、最後の視察地である標茶町に向かいました。標茶とは、アイヌ語で『大きな川のほとりの丘』という意味だそうです。標茶町では、官民学の連携

した。第一次産業を中心にバランスのとれたまちです。

厚岸町では、地方自治法96条第2項（議決事件の追加）として、定住自立圏構想、定住自立圏形成協定に至った経緯や共生ビジョン、財政について詳しく説明をいただきました。

また、議会改革について、本会議や委員会の運営のあり方について、質疑を行い活発な議論がなされました。

今回の視察では、北海道の広さを実感するとともに、地域の特色をいかした行政運営のあり方など、多岐にわたる研修をこれからの議会活動にいかしていきたいと思います。



最終処分場視察

あがつま 吾妻郡中之条町

安心安全な最終処分場の整備

いつまでも

きれいな故郷のために

10月5日、吾妻郡中之条町にある吾妻東部衛生施設組合にて運営されている一般廃棄物最終処分場（吾妻東部衛生センター）を視察しました。

吾妻東部衛生施設組合は、中之条町と東吾妻町、高山村の2町1村で運営されています。

この組合では、最終処分場を3自治体の持

ち回りで行われており、中之条町の順番となり当施設が建設されました。当初は、オーブン型最終処分場として検討されていましたが、維持管理費等を検討した結果、北関東初のクローズド型最終処分場として平成20年より埋立てが行われています。

本町においても、最終処分場が建設される

事となっておりますので、今回の視察を参考にしていきたいと思います。



屋根と外壁で覆われたクローズド型最終処分場





小田木美知子さん
(新里在住)

傾聴 ボランティア 「はあとの会」

あふれんばかりの笑顔で迎えてくださったSさんは、今年87歳。一人暮らしのおばあちゃん。傾聴ボランティア記念すべき第一日は、年が明けたばかりの風の強い午後のことでした。

「聴くことでできる社会貢献」として、一人暮らしのお年寄りの話し相手のボランティア、傾聴ボランティア「はあとの会」を立ち上げることでできたのは、明和町社会福祉協議会の担当の方々の励ましと支援、民生委員の方々の協力があったからです。

地域のお年寄りが孤立しないように、笑顔が増えるように、少しでもお手伝いできればと思い、県の社会福祉協議会主催、傾聴ボランティア養成講座を修了した5人で、昨年5月、明和町傾聴ボランティア「はあとの会」を発足させました。現在は、5人の一人暮らしのお年寄りの、話し相手として活動をしています。これからは、「はあとの会」の会員を増やし、充実した活動ができるよう努力したいと思っています。

部屋を暖めて待っていてくださった心遣いに触れ、私の心も温かくなりました。あつという間に、約束の一時間は過ぎ去りました。次回の約束をしての帰り道、冷たい風さえも応援しているかのよう、背中を押してくれました。

議会日誌

10月

- 1日 広報委員会
- 3日 第34回全国育樹祭(沼田市)
- 5日 議員全体研修(中之条町)
- 10日 町民体育祭
- 12日 議員全体研修(14日まで)北海道道東
- 26日 広報委員会・総務産業常任委員会・全員協議会
- 28日 県町村議会議長会主催議員研修

11月

- 5日 町戦没者追悼式・全員協議会
- 7日 産業祭・文化祭・健康まつり
- 8日 県町村議会議長会主催広報研修
- 16日 議会運営委員会
- 17日 第54回町村議会議長全国大会
- 24日 議会運営委員会・文教厚生常任委員会
所管事務調査・全員協議会
- 25日 第2回臨時会・総務産業常任委員会
所管事務調査

12月

- 3日 議会運営委員会
- 8日 第4回議会定例会(14日まで)
全員協議会・各常任委員会
- 14日 全員協議会
- 22日 郡町村議会議長会臨時会
- 28日 広報委員会

みなさんの傍聴を
お待ちしております

広報委員会	
委員長	今成 隆
副委員長	早川 元久
委員	堀口 正敏
	富塚 基輔
	斎藤 一夫

議会の生の声を
聴いてみませんか?

次回定例会

3月8日(火)から
午前9時～

3月17日(木)まで
(一般質問)

詳しくは議会事務局へ
TEL 84-3111

予定です

編集後記

あけましておめでとうございませう。

昨年の猛暑は人間ばかりでなく、米など農作物にまで被害をおよぼしました。1989年に亡くなった漫画家の手塚治虫さんが「ガラの地球を救え」というエッセイの中で、環境汚染などを危惧して「なんとしなくても、地球を死の惑星にしたいくない。」と述べていました。が、地球レベルで

副委員長記

の対策が急がれるのではないのでしょうか。

めいわ議会だよりは、昭和55年の創刊以来、今回50号の発行となりました。私たち現広報委員による議会だよりも早いもので3月議会と6月議会の残り2回となりましたが、委員一同多